

動作の表現と人物像の日中比較 一小説『三体』 『七回死んだ男』 の用例から一

宿利由希子(東北大学)・王睿来(韓山師範学院外国語学院)・羅希(広東技術師範大学)・揣迪之(仲愷農業工程学院)

1. はじめに

ことばと人物像(人となり)に関する研究

- 「役割語(金水, 2003)」の研究(山口, 2007; 鄭, 2007): 日本語と人物像の結びつきは強い。一方, 悪者が「ニタリとほくそ笑む」のように, 人物像によって動作がどのように表現されるかという,
- 「キャラクター動作の表現(定延, 2011)」の研究: 他言語との比較は日露対照(宿利・カリュジノフ, 2019)のみ。

→ 日本語の動作の表現が, 特定の動作主の人物像と結びついており, その使用可能範囲が中国語より狭いことを, 小説における使用実態調査(ケーススタディ)により示すことを目指す。

2. 調査概要

- 『三体』と『七回死んだ男』の中国語版および日本語版から, **笑い方, 泣き方, 動き回り方**という3種類の動作の表現を抜き出し, **登場人物ごとにどのような表現**が使用されているか比較
 - その際, 「笑った」「泣いた」などの, どのような登場人物にでも使えたと予想される表現のみの使用例ではなく, ニュートラルでないと予想される動詞や副詞を伴う動詞の例を抽出
- ※辞書は『中日辞典(小学館, 1992)』『日中辞典(小学館, 1987)』を使用。

表1. 調査に用いた小説原作と翻訳版の情報

作品名 ※日本語版のみ	原作著者名 (原作出版年)	翻訳者名 (翻訳版出版年)
三体	劉慈欣(2008a)	立原透耶・大森望・光吉さくら・ワンチャイ(2019)
三体II 黒暗森林	劉慈欣(2008b)	大森望・立原透耶・上原かおり・泊巧(2020)
三体III 死神永生	劉慈欣(2010)	大森望・光吉さくら・ワンチャイ・泊巧(2021)
七回死んだ男	西澤保彦(1995)	馬傑(2017)

3. 調査結果

中国語版ではさまざまな登場人物の動作を表す**ニュートラルな表現**として用いられるものが, **日本語版**においては**登場人物ごとに使い分けられ**, またその使い分けには**動作主の年齢や性別, 性格, 職業, 印象の善悪などが影響**している可能性が示された。

①表現の動作自体が異なる事例

動作主	日本語版の表現	中国語版の表現
史強 (男性・中年・警察)	つくり笑い [立原他 2019: 59, 70, 71, 94]	傻笑 shǎxiào <ばか笑いをする>
女の子	くすくす笑う [大森他 2021下: 179]	[劉 2008a: 3, 12, 29; 2010: 352]

②表現の印象が異なる事例

動作主	日本語版の表現	中国語版の表現
ウェイド (男性・中年・研究者)	にやっと笑う [大森他 2021上: 106]	微笑 wēixiào <ほほえむ, 微笑する>
世史夫 (男性・青年・学生)	薄ら笑いを浮かべる [西澤 1995: 218]	[劉 2010: 56; 馬 2017]
人々	泣き叫ぶ [大森他 2020下: 183]	大哭 dàkū <大泣きする>
父 (男性・中年・会社員)	泣きじゃくる [西澤 1995: 58]	[劉 2010: 56; 馬 2017]
ホームレス	ぶらぶらする [大森他 2021下: 285]	流浪 liúlàng <さまよう>
悪いおじさん (男性・中年)	うろつく [西澤 1995: 20]	转悠 zhuànyou <歩き回る> [馬 2017]

4. 考察

「誘導的側面」と「重複的側面」という日本語の特徴

- ◆ 誘導的側面: **日本語**社会では動作主の**人物像に合わない動作の表現**の使用が**避けられる**。

例) 中国語版: “傻笑 shǎxiào <ばか笑いをする>”
日本語版: つくり笑い

- ◆ 重複的側面: **日本語版**では, **修飾表現**の「子供のように」に加え, **重複的に**「泣きじゃくる」という子供っぽい泣き方の**表現**が用いられている。

例) 中国語版: “小孩子似的 xiǎo háizi shì de <子供のように>”
+ “大哭 dàkū <大泣きする>”
日本語版: 「子供のように」+ 「泣きじゃくる」

5. まとめ

- 本研究のケーススタディーで観察した表現に関して, 日本語の笑い方, 泣き方, 動き回り方の動作の表現が, 中国語に比べ特定の動作主の人物像と強く結びついており, 表現の使用可能範囲が狭いことが示されたと言える。
- さらに本調査の日中比較の結果は, 「誘導的側面」と「重複的側面」という日本語の特徴に光を当てる。

参考文献

- 金水敏(2003). ヴァーチャル日本語 役割語の謎 岩波書店
鄭惠先(2007). 日韓対照役割語研究 金水敏(編) 役割語研究の地平 くろしお出版 pp. 71-93.
定延利之(2011). 日本語社会のぞきキャラくり 三省堂
宿利由希子・カリュジノフ, M (2019). 日露比較から見る日本語の笑い方の表現の特徴 日本語の研究, 15 (3), pp. 18-25.
山口治彦(2007). 対照役割語研究への誘い: 役割語の個性性と普遍性 金水敏(編) 役割語研究の地平 くろしお出版 pp. 9-25.